2019年（令和元年）6月26日（水曜日）

建設通信新聞

（第11面）

電子化で一層の高品質を

測量協会 優秀4社を表彰

日本測量協会関西支部技術センターは25日、大阪市の天王寺ミオで2019年公共測量品質管理優秀賞の関西地区表彰式を開いた＝写真。田中俊之センター長から受賞した4社に表彰状が贈られた。

同協会が18年度に実施した基準点測量と地図作成の公共測量成果検定で優れた品質の測量作業機関を表彰するもので、ことしは全国9カ所で35社が選ばれた。関西地区の受賞者は地図がアジア航測大阪支店（大阪市）、国際航業（兵庫県尼崎市）、基準点鈴鹿設計事務所（大津市）、パスコ関西事業部（大阪市）。

田中センター長は「測量は形のないデータが成果だ。現場での品質管理は難しいが、今後も継続して受賞してほしい」とあいさつした。

アジア航測の三谷靖西日本支社長は「具体的に表彰されることはありがたい。今後も一層頑張っていきたい」と謝辞を述べた。国際航業の政野敦臣公共コンサルタント事業部副事業部長は「地形図はアナログからデジタルへと変わる中、一般市民もデータを見られるようになった。より高品質なデータを提供できるよう、気をつけて仕事に取り組む」と語った。

鈴鹿設計事務所の河合秀隆代表取締役は「電子化が進み、より高品質なものが求められている。ヒューマンエラーなどをなくし、今後も気を引き締めていきたい」と述べた。パスコ関西事業部の渡邊祐三技術センター長は「（測量データは）設計から施工まで使われるので細心の注意が必要だ。受賞を誇りに日々、研さんを重ね、品質向上に努める」と意気込んだ。

2019年（令和元年）6月27日（木曜日）

日刊建設産業新聞

（第3面）

公共測量品質管理優秀賞

優秀賞4社を表彰

測量協会関西支部

日本測量協会関西支部技術センターは25日、大阪市天王寺区の天王寺ミオ本館で19年公共測量品質管理優秀賞の表彰式を開いた。関西地区において優秀賞は地図作成でアジア航測大阪支店（大阪市）、国際航業（尼崎市）、基準点測量で鈴鹿設計事務所（大津市）、パスコ関西事業部（大阪市）がそれぞれ受賞した。田中俊之技術センター長から受賞者に表彰状が贈られた。

田中センター長は「測量は無形であり、現地の形状をいかに誤差なく数値化したかという結果で、品質管理は難しい。今後も、人材育成に努め、連続受賞を期待している」と述べた。

アジア航測大阪支店の三谷靖西日本支社長は「表彰というかたちになって、ありがたく思い、一層、頑張っていきたい」、国際航業の政野敦臣公共コンサルタント事業部副事業部長は「求められる品質が厳しいものになっており、ヒューマンエラーをなくすように意識を合わせながら、品質確保に努めている」、鈴鹿設計事務所の河合秀隆代表取締役は「受賞を糧にして、さらに品質確保に努力していきたい」、パスコ関西事業部の渡邊祐三技術センター長は「今年で4年連続の受賞となる。受賞を誇りに思って、技術の研さんを行い、品質向上に努めたい」と受賞の喜びを語った。

協会では測量機器及び測量成果の検定を行う第三者機関として検定業務を行っており、05年に表彰制度を創設した。表彰は今年で15回目となり、全国で公共測量品質管理優秀賞35社（基準点26社、地図9社）が受賞した。

THE DAILY ENGINEERING & CONSTRUCTION NEWS

日刊建設工業新聞

2019年（令和元年）6月27日（木）第19694号

（第12面）

4社に公共測量品質管理優秀賞

日測協関西技術センター

受賞した4社の代表者ら

日本測量協会（日測協）関西支部技術センターは25日、大阪市天王寺区の天王寺ミオ本館で「公共測量品質管理優秀賞」の関西地区表彰式を開いた。地図作成部門で受賞したアジア航測大阪支店（大阪市北区）と国際航業（兵庫県尼崎市）、基準点部門で受賞した鈴鹿設計事務所（大津市）とパスコ関西事業部（大阪市浪速区）にそれぞれ記念の盾が贈られた。

本年度は、基準を満たした273社（基準点250社、地図23社）の中から基準点部門26社、地図部門9社が選ばれ、関西地区で4社が受賞した。パスコは4年連続7回目、国際航業は5回目、アジア航測と鈴鹿設計事務所は2回目の受賞となった。

各社の代表者に記念の盾を手渡した田中俊之センター長は「測量の成果品は構造物とは異なる無形の数値データであり、品質管理が極めて難しい。受賞した4社はいずれも過去に受賞実績があり、社員の品質管理への意識の高さが表れている。今後も人材育成に努めながら受賞されることを願っている」と栄誉をたたえた。

アジア航測大阪支店の三谷靖西日本支社長は「今後も高品質の成果品を提供できるよう一層励みたい」、国際航業の政野敦臣公共コンサルタント事業部副事業部長は「作業者間のチームワーク向上に努めた結果、高度な品質を確保できた」と述べた。鈴鹿設計事務所の河合秀隆社長は「データのデジタル化が進む中でも品質確保に努めていく」、パスコ関西事業部の渡邊祐三技術センター長は「受賞を誇りに今後の技術の研さんに努めたい」と話した。

2019年（令和元年）6月27日＜木曜日＞

建通新聞

大阪

（第10面）

日本測量協会関西が表彰式を実施

公共測量品質管理優秀賞受賞の4社を対象に

日本測量協会関西支部は26日、公共測量品質管理優秀賞を受賞した関西地区の4社に対し、大阪市内で表彰式を行った＝写真。

この賞は2018年度に実施した測量成果の検定で、品質管理が特に優れていたと認められた企業に与えられる。表彰は05年の品確法施行を機に創設され、今年で15回目となる。

受賞したのは、地図作成部門でアジア航測大阪支店（大阪市）と国際航業（兵庫県尼崎市）の2社、基準点測量部門で鈴鹿設計事務所（大津市）とパスコ関西事業部（大阪市）の2社の計4社。パスコは4年連続の受賞となった。

同協会関西支部の田中俊之技術センター長は、「品質管理・確保は当然のことながら、各社の社員の意識の高さが受賞につながっている」と指摘。「今後も人材育成に努め、さらなる技術の向上に期待したい」とあいさつすると、受賞者の一人は「アナログからデジタルに変化する中、品質確保の方法も変わってきている。時代の流れをつかみながら、一層の研さんに努めたい」と応えた。